

Scouting Ibaraki

2012 vol.36



日本ボーイスカウト茨城県連盟 <http://www.scout-ib.net>



第18回茨城県キャンポリー Be Prepared ! 龍の宝珠を手に入れろ～

去る2012年8月9日～13日に、茨城県連盟創立60周年記念事業の総集として、第18回茨城県キャンポリーが行われました。県連盟の発足当時を振り返り、スカウティングの原点に立ち戻るとともに、今後の発展を期して、運営形態を合同野営大会としました。更に、班活動の楽しさを再確認するため、標準班を組織し活動単位とすることと明確化しました。

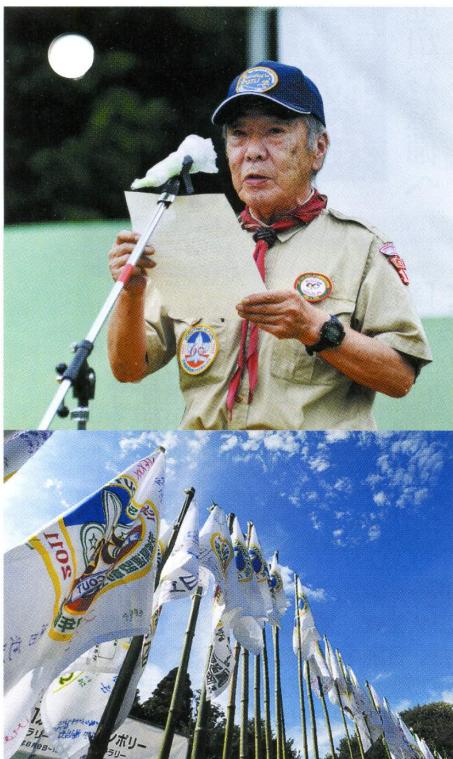
各団サイトには、創意工夫を凝らしたゲートが立ち並び、森の中にたのしいキャンプ村が出現しました。

東日本大震災を踏まえて、災害時に「自分の身を守り、他の人を助ける」技能を体得するために、大会期間中の班対抗のプログラムとして、「龍の宝珠」入手するストーリーを展開しました。被災を想定して火を使わない創意工夫のキャンプに挑戦したり、また500人規模の被災者に対する炊き出しのプログラムを実際

に行い、日ごろ行えない貴重な体験をしました。期間中に行われた、ベンチャースカウトフォーラムでは「団のために、自分は何ができるのか」をテーマとして活発な意見交換が行われました。ここで全国スカウトフォーラムの茨城県代表に、神栖第1団の須藤悠也君が選ばされました。

4日目の夕方には、各班で創意工夫をした「立ちかまど」が38基勢ぞろいし、日ごろの腕を振るった夕食作り「立ちかまグラブリー」に挑戦しました。

60周年記念式典からスタートした「60周年絆プロジェクト」プログラムは、県内全加盟団の成果報告があり、スカウトとともに活動に参加したシンボルの「60周年旗」が、アリーナに集合したビーバー、カブ、ボーイ、ベンチャー、ローバースカウト、そして指導者、育成会員の前に誇らしげに翻るなか、茨城県連盟創立60周年記念事業のクロージングが行われました。



渡辺裕之さんを「ボーイスカウト茨城広報大使」に



渡辺 裕之さん
プロフィール

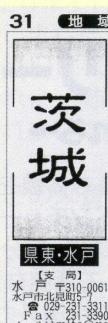
- ・水戸市に生まれ育ち、少年時代は水戸第2団のスカウトでした。
- ・スカウトとして培った「そなえ」を今も実践していて、車にはロープや毛布などを常備しているそうです。
- ・有名なのは、2007年1月11日の夕方、東名高速道路で人命救助を行ったことです。道路の金属製ジョイントに乗り上げた軽ワゴン車が横転。帰宅途中だった渡辺さんが目撃して車を止め、自分の携帯電話ですぐに110番通報をして、男性を事故車から救出。自分の車の中にはあった毛布を掛け、救急車とパトカーの到着後、警察官に状況説明をしたのです。
- ・最近作は『桜田門内の変！？』の監督・主演。『HAPPY！メディアな人々』に主演。
- ・根っからのアウトドア好きですが、ドラムを演奏しバンド活動を精力的に行ってます。
- ・車が好きで、ハーレーダビッドソンの勇姿をブログにも掲載しています。

日本連盟では各界の著名人に「ボーイスカウト広報大使」を委嘱して運動の活性化を図ることを奨めています。

茨城県連盟には水戸2団のスカウトであった俳優の渡辺裕之さんがいらっしゃいますので、平成24年5月に山田理事長以下4名でそのお願いに上がりました。ご多忙な中、時間を割いていただいたばかりでなく、ご自身のスカウト活動の思い出や自然体験活動への思い、日頃の生活でいかにスカウト技能やそなえを実践しているかなど、熱く語っていただきました。実際に楽しいひとときでした。今後は、渡辺さんの熱い思いや自然の中での活動へのメッセージを県内の加盟員のみならず、日本中のスカウトおよび指導者に発信したいと考えています。

ボーイスカウト野外活動拠点く「大和の森」高萩スカウトフィールド

高萩市



- 住所：(花 貴) 茨城県高萩市中戸川都室沢他
(中戸川) 茨城県高萩市中戸川菖蒲沢他
- 標高：(花 貴) 310~450m
(中戸川) 350~515m

高萩に野外活動拠点 270ヘクタール取得

日本連盟 未造成地271ha整備へ

ボーイスカウト日本連盟（奥原孝理理事長）は26日、東京都渋谷区、開いたて設立90周年記念の中央式典で、高萩市の山間部に野外活動拠点を整備する旨発表した。大手住宅メーカーから譲り受けた未造成地約271haをボーイスカウトの子どもたちが自ら開拓する計画で、整備後はキャンプや野外活動などに活用する。

予定地は同市中戸川の子たち自身が樹木造林で常磐自動車道の伐採地を取り組む「環境教育などに活用してほしい」と無償譲り入れられた。大手企業（本社：和ハウス工業）が昨年末同様に、主に次ぎの3カ所目。奥島理事長はすでに現地視察を終えたという。

中央式典では、今回

ボーイスカウト 整備へ

ボーイスカウト日本連盟（奥原孝理理事長）は26日、開いたて設立90周年記念の中央式典で、高萩市の山間部に野外活動拠点を整備する旨発表した。大手住宅メーカーから譲り受けた未造成地約271haをボーイスカウトの子どもたちが自ら開拓する計画で、整備後はキャンプや野外活動などに活用する。

予定地は同市中戸川の子たち自身が樹木造林で常磐自動車道の伐採地を取り組む「環境教育などに活用してほしい」と無償譲り入れられた。大手企業（本社：和ハウス工業）が昨年末同様に、主に次ぎの3カ所目。奥島理事長はすでに現地視察を終えたという。

中央式典では、今回

**ボーイスカウト拠点
270ha取得**

日本連盟

●面積：(数値は全て「約」)

	平方メートル	ヘクタール	坪	東京ドーム
花 貴	930,000m ²	93ha	280,000坪	20個
中戸川	1,780,000m ²	178ha	540,000坪	38個
合 計	2,710,000m ²	271ha	820,000坪	58個

日韓スカウトフォーラム

2013年1月12~14日の日程で、広島市アステールプラザで開催され、茨城県連盟から下記のスカウトが派遣されました。

助川菜々子(日立5団 VS)
折田 未奈(土浦6団 VS)

チャリティーゴルフ大会

県連盟の財政を支えるボーイスカウト茨城県連盟維持財団主催のチャリティーゴルフ大会が、富士カントリー笠間クラブにおいて開催されました。52名の篤志の皆様に参加いただきました。収益は県連盟の活動を支える財源となります。

なお、関連連盟長や橋本千代寿長老をはじめ多くの方々から、協賛金や賞品の提供をいただきました。

ボーイスカウト振興茨城議員連盟総会

ボーイスカウト振興茨城議員連盟は、「本県におけるボーイスカウト運動の振興のため、県に督励する」ことを目的とし、ご賛同をいただいた県議会議員の皆様により平成16年に発足いたしました。議員連盟の皆様には、日頃から物心両面に渡りご支援、ご指導をいただいている。全加盟員に配布している「そなえよつねに（日々の善行）キーホルダー」は、いただいた助成金で作成して配布しているところです。

2012年6月4日に県議会議事堂において、総会が行われ、茨城県連盟からは関連盟長、山田理事長、維持財団から立原理事長をはじめ25名が陪席しました。

総会において新年度の役員が発表されました。役員の方々及び議員連盟の会員の皆様は次のとおりです。

(敬称略・順不同・6月5日現在)

会長	桜井 富夫	(石岡市)	海野 透	(ひたちなか市)	田村けい子	(つくば市)
副会長	長谷川修平	(日立市)	石川 多聞	(水戸市)	梶岡 博樹	(守谷市)
監事	井手 義弘	(日立市)	葉梨 衛	(稲敷郡北部)	西野 一	(常陸太田市)
幹事長	飯塚 秋男	(下妻市)	田山 東湖	(東茨城郡南部)	村上 典男	(笠間市)
幹事長代理	伊沢 勝徳	(土浦市)	西條 昌良	(神栖市)	神達 岳志	(常総市)
事務局長	白田 信夫	(桜川市)	磯崎久喜雄	(ひたちなか市)	戸井田和之	(石岡市)
事務局次長	山岡 恒夫	(牛久市)	細谷 典幸	(稲敷市)	志賀 秀之	(北茨城市)
幹事	小田木真代	(高萩市)	藤島 正孝	(潮来市)	石塚仁太郎	(坂東市)
	狩野 岳也	(かすみがうら市)	菊池 敏行	(日立市)	鈴木 将	(つくば市)
	館 静馬	(水戸市)	田所 嘉徳	(筑西市)	先崎 光	(那珂市)
	石田 進	(神栖市)	飯岡 英之	(つくば市)	島田 幸三	(小美玉市)
	萩原 勇	(龍ヶ崎市)	森田 悅男	(古河市)	鈴木 定幸	(常陸大宮市)
	加藤 明良	(水戸市)	常井 洋治	(笠間市)	菅谷憲一郎	(古河市)
	下路健次郎	(那珂郡)	川津 隆	(水戸市)	斎藤 英彰	(日立市)
	星田 弘司	(つくば市)	錦織 孝一	(鹿嶋市)	設楽詠美子	(筑西市)
			福地源一郎	(日立市)	八島 功男	(土浦市)
			荻津 和良	(東茨城郡南部)	細谷 典男	(取手市)
			鈴木 亮寛	(つくばみらい市)	川口 政弥	(取手市)
			佐藤 光雄	(水戸市)	宮崎 勇	(筑西市)
			青山 大人	(土浦市)	大谷 明	(ひたちなか市)
			高崎 進	(水戸市)		

振興議員連盟の方々から「スイカ割り」プログラムを提供されました

振興議員連盟の方々は、8月12日(日)に県キャンポリーと同時開催された第13回カブラリー＆第4回ビーバーラリーに「スイカ割り」プログラムを提供され、スカウトや家族・友人と一緒に楽しい一時を過ごしました。このプログラム提供は議員連盟創立以来初めてのことでありました。



団委員長懇談会（セミナー）

2012年9月16日に「団委員長セミナー」を行いました。2年前までは「懇談会」という名称でしたが、孤立しがちな団委員長に単なる情報提供だけでなく研修の場を提供し、スカウティングの活性化を図る意図で実施されています。

宮田俊晴県連盟コミッショナーによる基調講演「標準団とは何か？」に始まり、4つの分科会で熱心な討論がなされました。参加者は25名、スタッフは山田理事長以下9名でした。

スカウトの進歩状況

●「菊章」取得スカウト (2012年12月現在)

片柳ももか(守谷1) 藤本佳奈子(日立8)
山本 将義(筑西1) 坂本 知洋(牛久2)
早川 智也(笠間1) 植田 友樹(水戸8)
梅原 徳広(水戸2) 渡辺 未貴(かすみがうら1)

●「富士章」取得スカウト (2012年12月現在)

生田目 樹(土浦2) 清水 夏穂(牛久2)

CJKプロジェクト派遣

2012年8月19~29日の日程で、フィリピン共和国をフィールドにしたローバースカウトによる保健衛生啓蒙奉仕活動が行われました。この派遣は日本連盟の主催行事で、韓国連盟・台湾連盟との協働で実施されるものです。本県連盟からも指導者1名と3名のローバースカウトが参加しました。

カブ隊のユニセフ募金

4地区に所属する石岡第3団は、毎年9月のプログラムでユニセフ募金を行っています。石岡市では敬老の日に絡んだ3連休に「常陸國總社宮例大祭」という大きなお祭りが行われます。このお祭りは、関東の三大祭りの一角を占め、多くの人々が訪れます。石岡第3団では20年前から、このお祭りの2日目に石岡駅前でユニセフ募金を実施しています。

約1時間の募金ですが、カブスカウト8名を含めて20名が参加し、3万円弱の募金を集めました。

つくば第1回のJOTA・JOTI

2012年10月21日は「ジャンボリー・オン・ジ・エアー(JOTA)」「ジャンボリー・オン・ジ・インターネット(JOTI)」の日でした。柏原隊長宅にマーキーを張り、17名の参加で行われました。

普段はなかなか触れ合えない国内外のスカウトとの交流ができ、自己の自慢、趣味、興味あることなどを話題に会話できました。JOTIの交流先は、50カ国に上りました。

今後の課題として、県連盟や地区で無線免許の講習会があると良いと思われます。

スカウト活動を含めて無線通信の重要性を再認識し、普及に支援が求められています。

第30回 第1地区スカウトフェスティバル

2012年10月28日に、日立電線日高体育館とグラウンドで行われました。テーマは「絆から和へ」で、ベンチャースカウトは野点(お茶会)も実施しました。

閉会式では、各団2枚のネットを合計14枚つないで輪(和)を作り「絆」を表現して、地区の和が大きな輪になる事を願い、弥栄で閉じました。



第6回高鈴げんき隊

2012年8月19~21日に日立市もとやまキャンプ場で行われました。日立市内の小学4~6年生24名を対象に、ボーイスカウト・ガールスカウトの指導者及びベンチャースカウト・ローバースカウトがヤングリーダーとして3泊4日でキャンプの奉仕をしました。



発団50年を祝う

ボーイスカウト笠間第1団発団50周年記念事業を平成24年11月18日(日)に笠間稻荷神社・稻光閣で開催しました。

当日はスカウト、指導者及び関係者、第3地区友団それに、姉妹都市・赤穂市からもお祝いに駆けつけてくれました。さらに、笠間市教育長、第3地区石塚委員長、笠間ロータリークラブ会長及び笠間稻荷神社宮司などの来賓にもご臨席を頂きました。また、発団当時のOBの方々(10名)の出席があり、総勢約130名でした。

歴史と恵まれた環境の中で活動ができるスカウトたちには、誇りを持ってさらにスカウト活動に励み、ボーイスカウト運動活性化の一助となることを願いました。茨城県連盟を始めご指導を頂いたことにも感謝を忘れません。



団委員・指導者合同研修会

5地区では、毎年12月に団委員と指導者を対象に合同研修会を行っています。県連の役員や学識経験者を講師に、スカウト活動に身近なテーマで講演を行っています。最近では、平成21年度:「スカウトにロープワークの興味を持たせる方法は!!!」(講師:富田副理事長)、平成22年度:「進歩制度について」(講師:中島副理事長、当時県コミ)、平成23年度:「事故を防ぐための気象情報の見方・使い方」(講師:堤水戸気象台長(牛久第1団団委員))などがテーマでした。今年度は、福島の原発事故の影響で、5地区が茨城県内では最も放射線量が高いことから、筑波大学アイソトープ環境動態研究センターのセンター長である松本宏教授を講師に招き、「放射線の基礎と人体影響」をテーマに講演を行いました。

除染の大切さ、事故以前でも多少の内部被爆を受けている(40Kなど)など、漠とした不安が少し解消されました。

